

秋の叙勲・褒章

瑞宝双光章



平成18年秋の叙勲・褒章が発表されました。筑西市からは、叙勲に瑞宝双光章が7人、瑞宝単光章が1人、褒章では藍綬褒章に1人が選ばれました。受章したみなさんを紹介します。

●瑞宝双光章



おおばやし ひろし
大林 浩さん
保護司
(76歳・柴山)

昭和52年から現在までの30年間、保護司として更生保護に尽力。また、人権擁護委員としても活躍されています。「保護司として多くの人と出会い、共に悩み、共に喜び、さまざまな経験をさせてもらいました。今後も明るい地域づくりに貢献していきます」。

●瑞宝双光章



うちやま しょうご
内山 昭吾さん
元関東地方建設局
日光砂防工事事務所長
(70歳・玉戸)

昭和34年から昭和59年までの25年間、河川やダム建設などの砂防工事に従事。「思いがけない受章に驚いています。昭和34年の伊勢湾台風による被害や阿武隈ダムの用地交渉など当時の苦労が思い出されます。支えてくれた家族に感謝しています」。

●瑞宝双光章



いけだ まこと
池田 真さん
元公立小学校長
(70歳・関本下)

昭和34年から平成9年までの38年間教員として、また平成12年からは関城町教育長として活躍されました。「関城中学校の改築では、現場の意見を数多く取り入れてもらい、理想的な^{まなびの}学舎ができました。関係者のご理解とご協力^{たまもの}の賜と感謝しております」。

●瑞宝双光章



あくい ひさお
安喰 久夫さん
元警察官
(76歳・幸町)

昭和25年から昭和61年までの36年間、警視庁と県警の警察官として地域の安全を守ってこられました。「刑事をしていた時、数々の少年問題に取り組んできたことが印象に残っています。これまで支えていただいた、地域のみなさまに感謝しています」。

●瑞宝双光章



たけざわ しろう
竹沢 四郎さん
元海上自衛官
(61歳・三郷)

昭和39年から平成11年までの35年間、海上自衛官として国防に従事。「南極観測隊の輸送支援として極地に行ったことや、日米の合同軍事演習に参加したことなどが思い出に残ります。家を空けることが多く、家族には苦労をかけました。感謝しています」。

●瑞宝双光章



おおわだ やすのり
大和田 保則さん
元明野町消防団団長
(73歳・古内)

昭和29年に消防団入団以来、平成17年に明野町消防団団長を辞するまでの54年間、災害現場の第一線で活躍。「昭和61年の小貝川決壊のときは、現場の指揮を執っていましたが、一人の被災者も出さずに済んだことが長い消防活動の中でも思い出深いです」。

●藍綬褒章



おちあい いさむ
落合 勇さん
民生・児童委員
(73歳・小川)

昭和55年から現在までの25年間、民生・児童委員として、地域福祉の向上に貢献されてきました。「褒章を受章し、光栄に思っております。地域のみなさまのご協力によってこれまで無事に努めてこられました。今後も地域のために力を注いでいきたいです」。

●瑞宝単光章



すぎやま たいら
杉山 平さん
元郵政事務官
(65歳・樋口)

昭和33年から平成12年までの33年間、久下田郵便局に勤務。地域からの厚い信頼を得てきました。「雪の中、一日中歩いて郵便を配達したこともありました。民営化になりますが、後輩たちには、仕事の大切さを理解し、ぜひ、頑張ってもらいたいです」。

●瑞宝双光章



かつぬま のぼる
勝沼 昇さん
元警察官
(77歳・井上)

昭和31年から昭和63年までの32年間、埼玉県警察官として活躍。「刑事課長当時、長期間にわたって広域暴力団の取り締まりに携わり、多くの事件を解明し、警察庁長官賞をいただいたことが思い出に残っています。そして、妻と家族に感謝しています」。

筑西市・人権書道コンクール

筑西市と下妻人権擁護委員協議会筑西市部会では、小学5・6年生を対象に『人権書道コンクール』を開催しています。応募のあった1, 437点の作品の中から、優秀な作品を紹介します。(敬称略)

最優秀賞



松本 彬
(関城西小・6年)



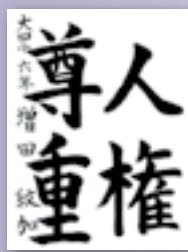
安達 ひかり
(伊讚小・5年)



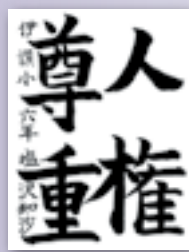
優秀賞



飯村 悠
(上野小・6年)



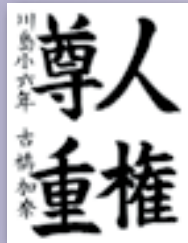
増田 紋加
(大田小・6年)



塩沢 知沙
(伊讚小・6年)



板橋 瑞樹
(古里小・6年)



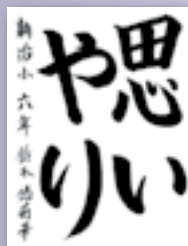
古橋 加奈
(川島小・6年)



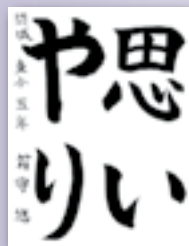
若松 愛美
(嘉田生崎小・6年)



稲川 香純
(小栗小・6年)



鈴木 悠莉華
(新治小・6年)



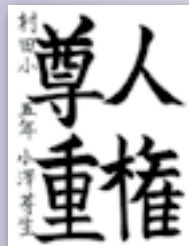
箱守 悠
(関城東小・5年)



塚原 来見
(鳥羽小・5年)



赤城 千佳
(上野小・5年)



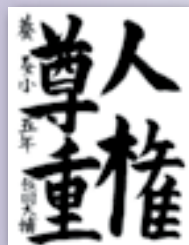
小澤 芽生
(村田小・5年)



増田 菜奈
(新治小・5年)



石井 萌加
(下館小・5年)



飯岡 大輔
(養蚕小・5年)



大森 玲奈
(大田小・5年)

人権啓発 ポスター コンクール

平成18年度人権啓発ポスターコンクール(茨城県主催)が行われ、筑西市から6人の児童・生徒が入賞しました。(敬称略)

【優秀賞】大林美和子(新治小4年)
【佳作】松永花音(川島小3年) 横田和姫(村田小学校4年) 中野翔太(下館小6年) 嶋田千晶(協和中学校1年) 中澤祥子(関城中学校3年)

人の和は人権を守る心から



関城西小学校で行われた人権教室



木造住宅簡易耐震診断をおすすめします

いつ起こるかわからない地震に備えて

知っていますか、あなたの家の耐震性

平成7年1月に起きた『阪神・淡路大震災』における木造住宅の被害は、それまで経験したことがないほど大規模なもので、多くの犠牲者を出しました。地震はいつ起こるか予測できません。自身や家族の生命、大切な財産を守るためには、まず、自分たちが今住んでいる住宅にどの程度の耐震強度があるかを知ることが必要です。地震への備えは、『わが家の耐震性』を知ることから始まります。

まずは気軽に木造住宅簡易耐震診断を

建物の規模や形態がそれぞれ異なる一般住宅。その耐震強度を知るには、住宅ごとに家屋の状況を把握して、地震に対する抵抗力を割り出す必要があります。

木造住宅簡易耐震診断では、木造一戸建ての住宅の状態を、地盤・基礎、建物の形、壁の配置・割合、老朽度など項目ごとに診断します。あなたとあなたの家族を守るため、この機会に簡易耐震診断を受けてみてはいかがでしょうか。

■木造住宅簡易耐震診断の申し込みは

市建築課建築係TEL2011177(直通)

申し込み

随時受け付けています。受け付け後、現地予備調査と問診表による相談のそれぞれの実施日を連絡します。

現地予備調査

問診表による相談の際に参考とするため、社団法人茨城県建築士会筑西支部の調査員が申し込み者の住宅を訪問し、予備調査を行います。

調査では実際に建物を見て、基礎まわりや地盤、間取りなどを確認します。建物平面図などがあれば用意しておいてください。

問診表による相談

現地予備調査や問診表による診断の結果などをもとに、建築士会筑西支部の相談員が相談に応じます。

改修などの対策が必要な場合や、建物の安全性をより正確に確かめたい場合は、一般診断や精密診断(ともに有料)を受けることをおすすめします。

無料

Vol.5 財政健全化計画を確実に実行して
財政破綻を防ぎ、安定的な財政運営を確保します

筑西市の財政は危機的な状況にあり、現在、平成18年度を緊急改革期間と位置づけ、徹底した行政改革に取り組んでいます。この改革の中で、特に財政構造改革の指針となるものとして、財政健全化計画を策定しました。

健全化方策8項目の達成で
危機的財政状況の改善を図る

財政健全化計画では、健全化を進める方策として次の8項目を定め、市の全事業をゼロベースで見直し、事業の休止・凍結も含めた徹底した改革を行います。

①標準財政規模と歳出決算規模の縮減
標準財政規模を220億円と予測し、決算規模を平成19年約340億円、平成20・21年約330億円とします。

②経常収支比率の引き下げ
経常収支比率を80%台にするため、人件費・扶助費・委託料・補助費などの削減を行います。また、歳入確保のため、収納率の向上を図り、受益者負担の原則に基づく料金改定などを行います。

③地方債発行額の制限
新規事業の凍結・継続事業の休止などで地方債の発行を制限します。

④公債費比率の引き下げ
全会計の投資的経費を抑制し、借入金

⑤財政力指数の改善と地方交付税の確保
財政基盤を強固にするため、税金や使用料の収納率向上と、減少傾向にある地方交付税の確保に努めます。

⑥基金の確保
標準財政規模の10%程度の基金を確保し、地域振興基金の活用を図ります。

⑦繰出金等の抑制
特別会計への繰出金や病院・水道会計への補助金を削減します。

⑧情報の発信と共有化
市民・職員に向けた情報発信と市民協働社会の実現に取り組みます。

この財政健全化計画を完全に実施することで、財政再建団体への転落を防ぎます。さらに、安定的な財政運営を確保するため、行政改革を継続して推進します。

■元公平委員会委員の齋藤實さんに総務大臣表彰
齋藤實さん(74歳・野殿)が総務大臣表彰を受賞しました。齋藤さんは、平成6年から平成17年までの約12年間にわたり、下館市ほか四力町村及び一部事務組合等公平委員会委員として尽力。その功績が認められての表彰です。



10月29日、古河市の広域中央運動公園を会場に、県西地区の10市町から14チームが参加して、『消防ポンプ操法競技大会県西地区大会』が行われました。市内からは関城地区の第25・26分団による合同チームが出場し、日ごろの厳しい訓練で磨いた技術を披露しました。



11月7日、明野中学校で、校舎改築(建てかえ)工事の起工式を行いました。新校舎は鉄筋コンクリート造2階建、延べ床面積約7,270㎡で総工費約16億9千万円。生徒の主体的な活動を支援する多目的スペースや情報化に対応するメディアセンターなどを備え、平成20年9月に竣工の予定です。

■シビックコア地区整備事業完成式
11月18日、『筑西市シビックコア地区整備事業完成式』をアルテリオで、『筑西しもだて合同庁舎落成式』を同庁舎で開催しました。同事業では、下館駅北の約2.4ヘクタールに国の合同庁舎や民間施設などが一体的に整備され、市の拠点地区として生まれ変わりました。

